

# 経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
223	経済学演習 (馬場義久)	通年	3年以上：4単位	馬場 義久 政政・経演・国演

**副題**  
Subtitle  
わが国の財政システムに関する研究

**授業概要**  
Course Description  
ゼミナールの共通テーマとしては、現行日本の財政システムに関する研究を行う。たとえば、税制の問題点と改革の方向、財政赤字分析、年金・医療・福祉など社会保障のあり方、地方分権制度の構築などが課題として挙げられる。6月末まで財政学のテキストを皆で輪読し、その後、3ないし4のグループに分かれ研究を進めグループ論文を作成する。ゼミナールであるので、独習だけでなく自由闊達な討論を通じてお互いに良い刺激を与えながら、これらの研究をすすめたい。ゼミ活動を通じて、自分なりに財政問題を考えるセンスを身に付けてもらいたいと思っている。

**授業の到達目標**  
Objectives  
解明すべき財政問題を発見し、それに関する重要文献を理解し、自らの主張をまとめる能力を養成する。

**授業計画**  
Course Schedule  
第1回：イントロダクション ゼミ活動の年間予定確認  
第2回 - 第7回：教科書第10章「社会保障を考える」を輪読予定  
第8回 - 第13回：教科書第7章「地方税を徴収される」を輪読予定  
第14回：グループ研究第1班および第2班の研究報告  
第15回：グループ研究第3班および第4班の研究報告  
第16回：グループ論文の書き方の指導および日程の打ち合わせ  
第17回 - 第29回：グループ研究の報告（各回1グループずつ）  
第30回：グループ論文の執筆上の再確認

**教科書**  
Textbook(s)  
横山・馬場・堀場『現代財政学』有斐閣 2009。

**参考文献**  
Reference Book(s)  
ゼミナールの開始時に参考文献リストを配布するほか、授業中に適宜紹介する。

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	グループ論文の説得力・独自性をもとに評価。
平常点評価 Class Participation	50 %	出席、討論への参加、報告内容をもとに評価。
その他 Other	%	

**備考**  
Note  
( ) ゼミ活動に前向きな諸君を特に歓迎したい。  
( ) 財政学を現在履修中か、3年次春学期に履修することを求める。

**関連URL**  
URLs for References  
なし。